

XMLによるクレデンシャルの一括設定

内容

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[手順](#)

[コンフィギュレーション](#)

[クレデンシャルの取得](#)

[Excelでの資格情報の追加、削除、変更、または確認](#)

[例：グローバル以外のすべての認証情報の削除（使用例）](#)

[CSPC GUIへの変更のインポート](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[エラー「A Seed File already exists with the name C:\fakepath\ .xml.一意のシードファイルを選択してください。」](#)


[問題が発生しました。バックアップがないため、以前の資格情報を回復する必要があります](#)

はじめに

このドキュメントでは、Common Services Platform Collector(CSPC)のクレデンシャルをExcelおよびXMLで一括管理する手順について説明します。

前提条件

要件

 ヒント：グローバルクレデンシャルはすべてのデバイスに適用され、IPアドレスリストには***が含まれます。グローバル以外のクレデンシャルは、リストされているデバイスにのみ適用されます。

elp

Device Credentials Configuration

Device Credentials

Enter credentials that will be used for device discovery and inventory and other communications between server and network devices

NOTE: Credentials would be saved to CSPC server as and when you take the action.

Q -

Credential Name	Transport	User Name	IP Address List
false_passSSH_v1	sshv1	false_passSSH	****
false_passSSH_v2	sshv2	false_passSSH	****
false_passSSH2_v1	sshv1	false_passSSH2	****
false_passSSH2_v2	sshv2	false_passSSH2	****
Fake2remove	telnet	Fake2remove	1.2.3.4
Fake2removeSN...	snmpv3	Fake2remove	4.5.6.7
Fake2removeSN...	snmpv3	Fake2remove	4.5.6.8
Fake2removeSN...	snmpv3	Fake2remove	4.5.6.9
Fake2removeSN...	snmpv3	Fake2remove	4.5.6.10
Fake2removeSN...	snmpv3	Fake2remove	4.5.6.11
Fake2removeSN...	snmpv3	Fake2remove	4.5.6.12


Page 1 of 1 Displaying 1 - 50 of 50

Global credentials

Non-global credentials

次のものがが必要です。

- Excelとその使用方法に関する基本的な知識
- Excelの[開発]タブを有効にする([手順](#))
- グラフィカルユーザインターフェイス(GUI)からのクレデンシャルのエクスポート

 てください。認証情報は共有しないでください (特定のケースで承認されていない限り) 。問題を文書化するために、必ずサービスリクエスト(SR)と協力してください。チームがアカウントを作成していない場合は、アカウントPMに代わってプロアクティブに開いてから、問題の調査を開始します。データのクラス分けの詳細については、[Data Advisorツール](#)を参照してください。

使用するコンポーネント

この手順は、次の項目を含むラボ環境で行われました。

- CSPCバージョン2.8.1.4
- Excel 2013

この手順は、クレデンシャルを.xmlとしてエクスポートできる任意のCSPCバージョンと、2010年以降の任意のExcelバージョンで実行できます。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

背景説明

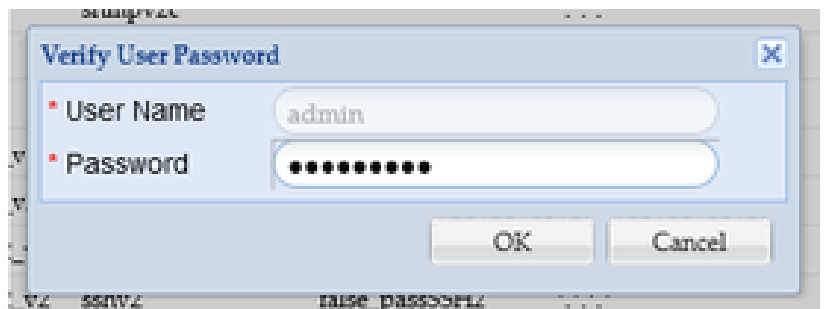
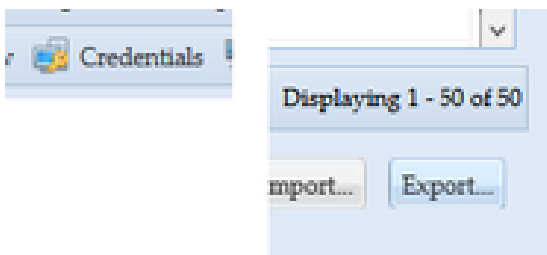
CSPCのクレデンシャルを一括で追加、削除、変更、または検証する必要がある場合 (たとえば、以前のシードファイルをインポートしてデバイスごとに1つのクレデンシャルを取得した後など) 。グローバルでないクレデンシャルを一括で削除することで、時間を節約できます。クレデンシャルは、Excelと、GUIからエクスポート可能なクレデンシャルXMLを使用して、簡単かつ効率的に管理できます。これらのアクションについては、「手順」セクションで説明します。

手順

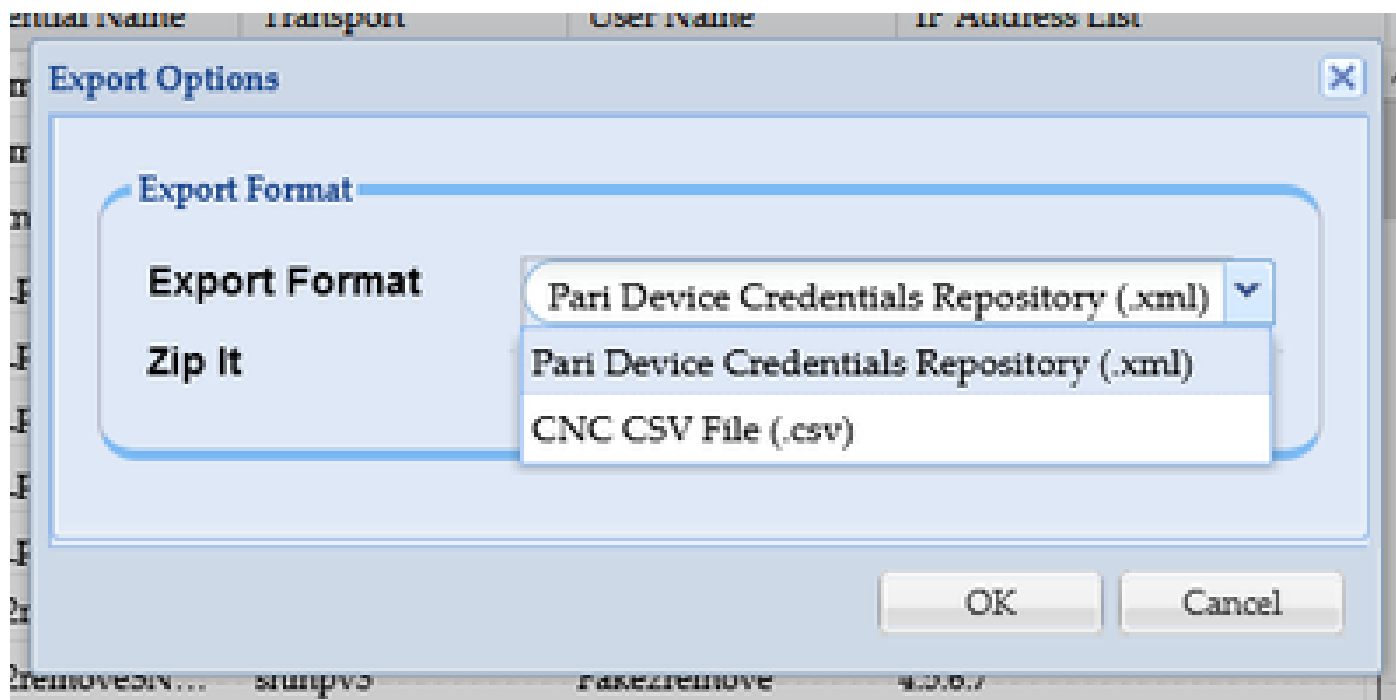
コンフィギュレーション

クレデンシャルの取得

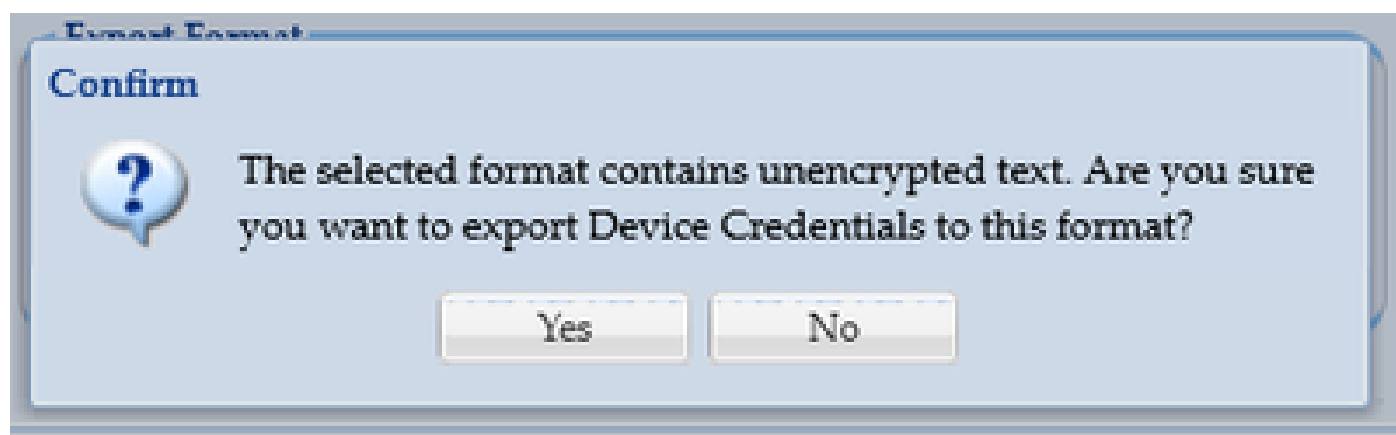
1. CSPC GUIにログインします。
2. 「資格証明」>「エクスポート」に移動します (GUI資格証明でログインします) 。



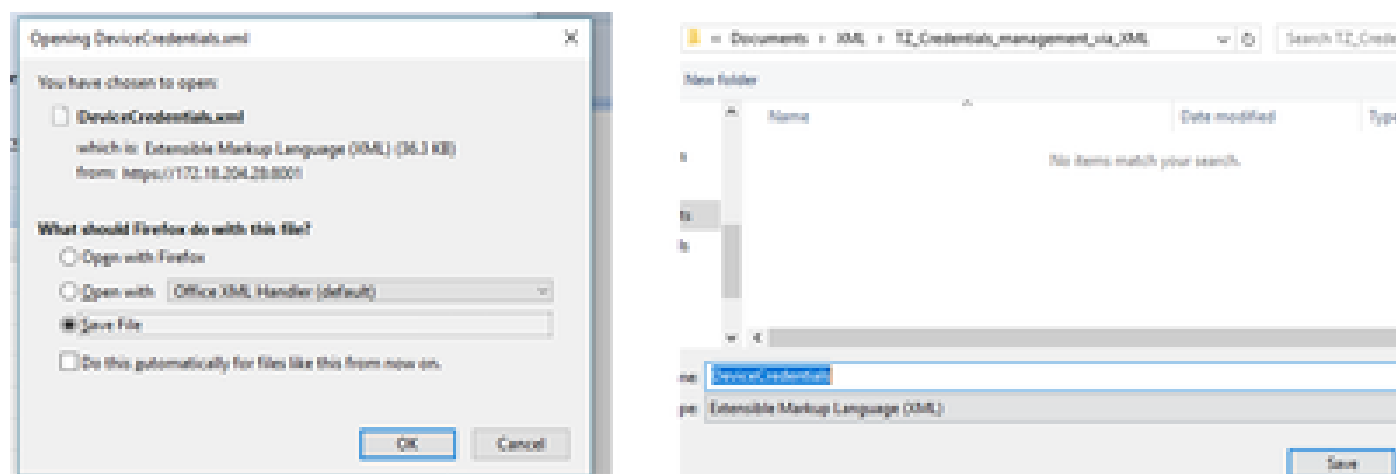
3. Pari Device Credential Repository (.xml)を選択し、OKをクリックします。圧縮しないでください。



4. クレデンシャルをエクスポートすることを確認します。

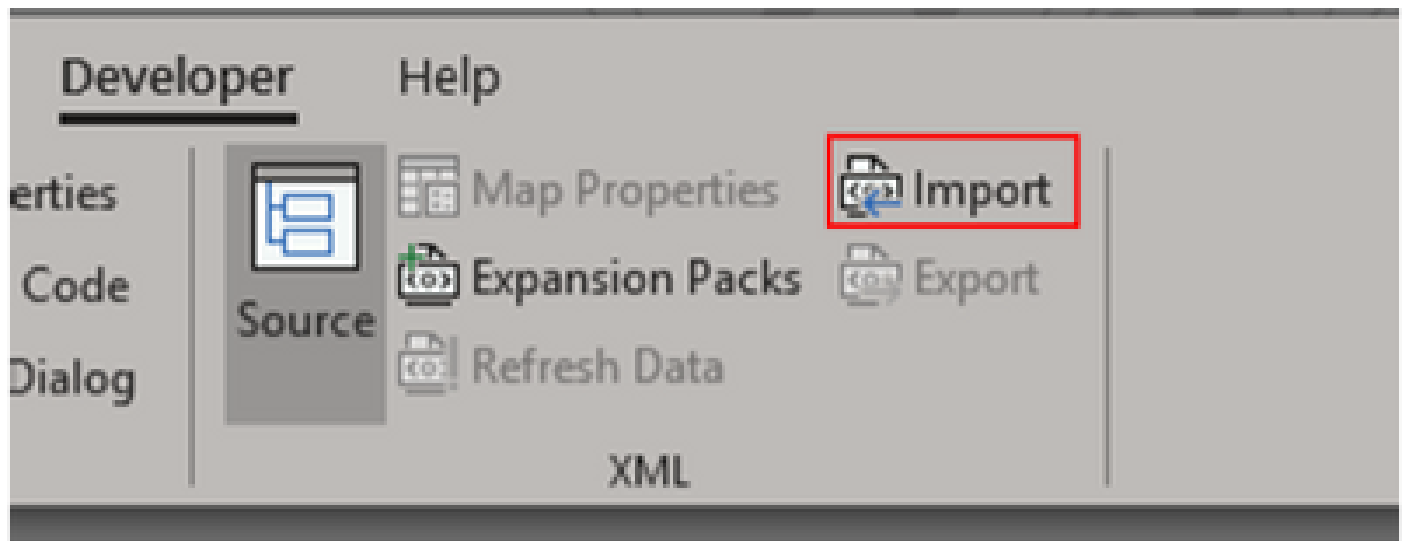


5. ファイルを安全でアクセス可能な場所に保存します。

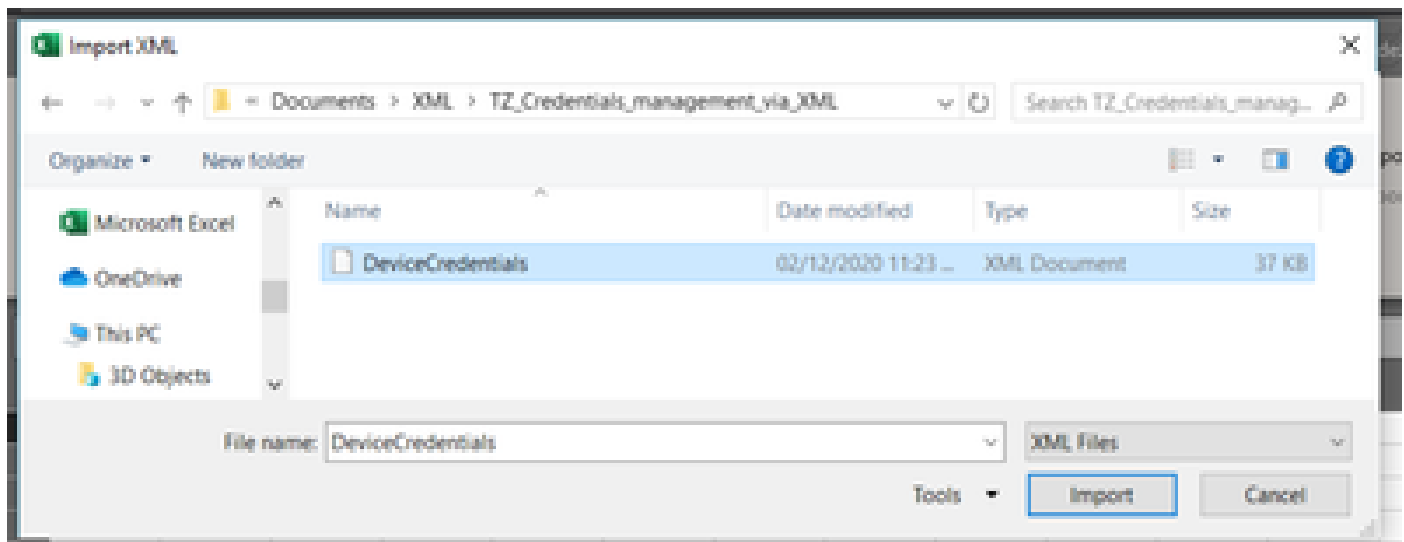


での資格情報の追加、削除、変更、または確認

1. 新しいExcelブックを開きます。
2. 「開発者」タブに移動し、XMLセクションの「インポート」をクリックします。




3. XMLファイルの選択を求めるプロンプトが表示されます。GUIからエクスポートしたものを選択し、**Import**をクリックします。



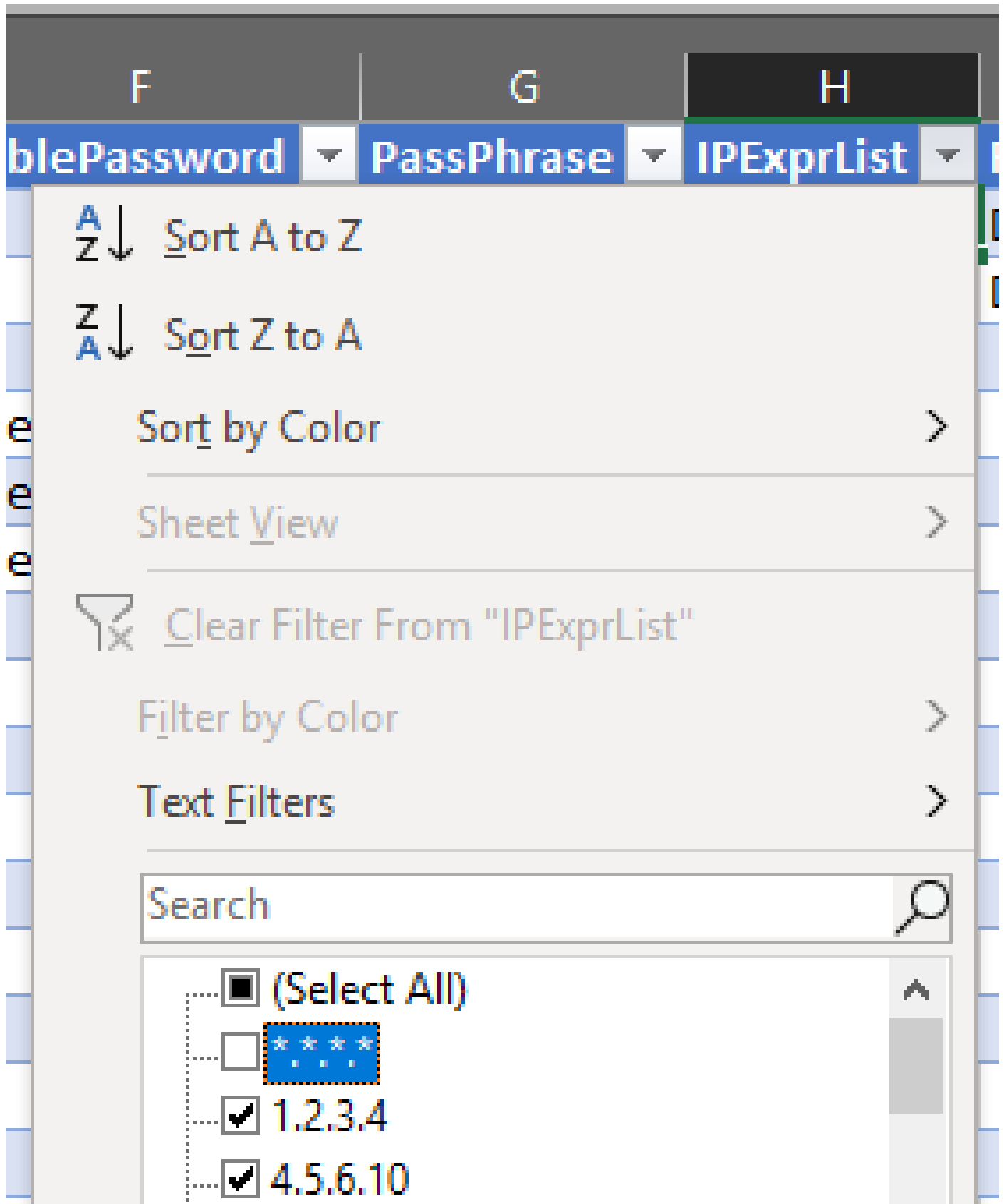
4. Excelでスキーマ（現在のブックのXMLを読み取り可能にするための参照）を作成するかどうかを確認するメッセージが表示されます。[OK] をクリックします。

7. 必要に応じて資格証明を編集します。

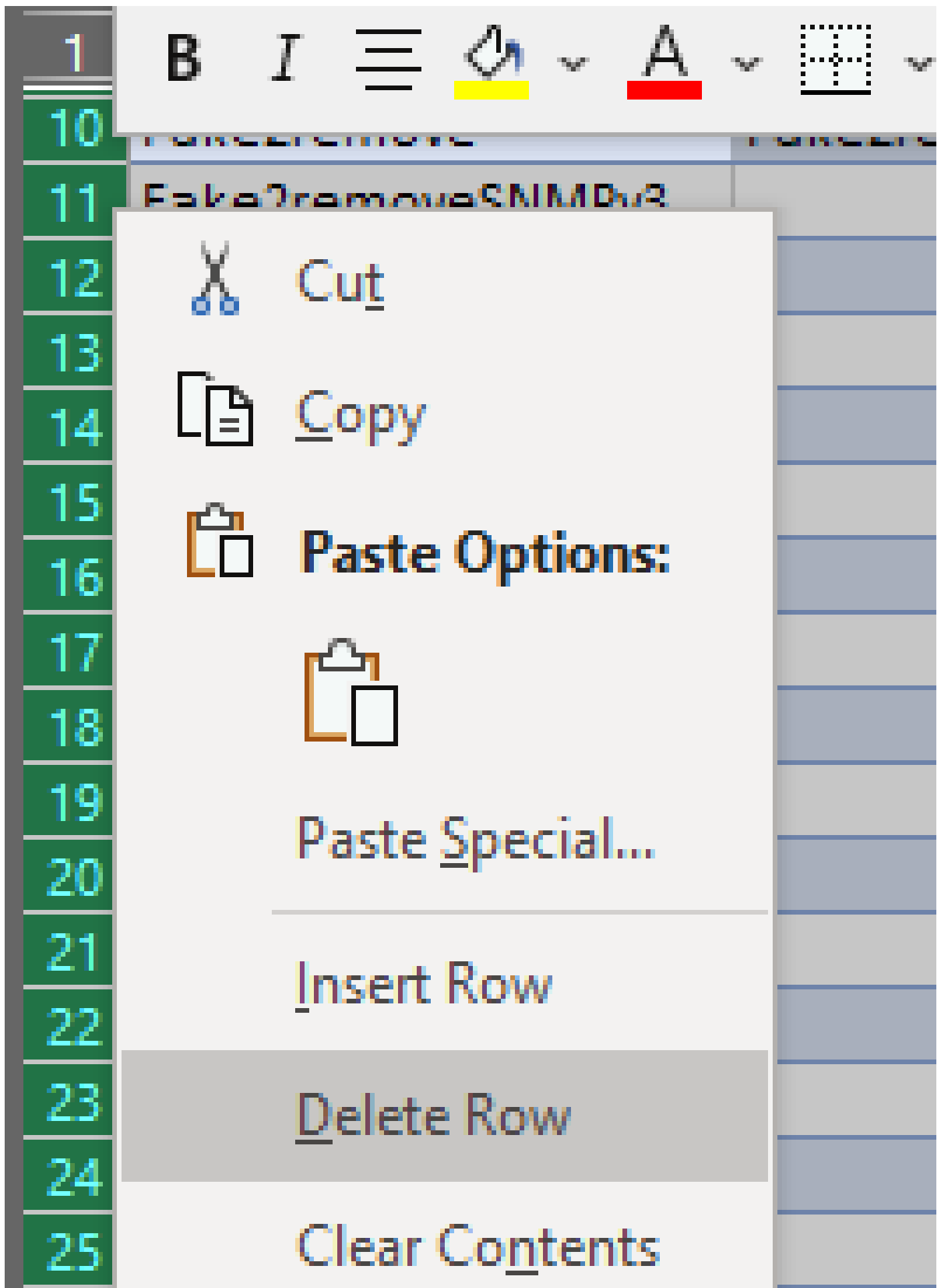
例：グローバル以外のすべての認証情報の削除（使用例）

 注：これは単なる使用例です。クレデンシャルを追加し（関連するEntryIDを追加することを忘れないでください）、パスワードを変更し、これが通常のExcelテーブルであるかのようにエントリを削除できます。必要が異なるためにグローバル以外のクレデンシャルを削除しない場合は、この例を省略してください。

1. H IPEXprList列をフィルタし、*** 以外のすべてを選択します（グローバルクレデンシャル）。




2. 一致するすべての行を選択して削除します。




3. (すべて選択) をクリックして、H列のフィルタを削除します。

F
G
H


EnablePassword
PassPhrase
IPEXprList

 Sort A to Z

 Sort Z to A


Sort by Color >

Sheet View >

 Clear Filter From "IPEXprList"

Filter by Color >

Text Filters >

Search 

(Select All)

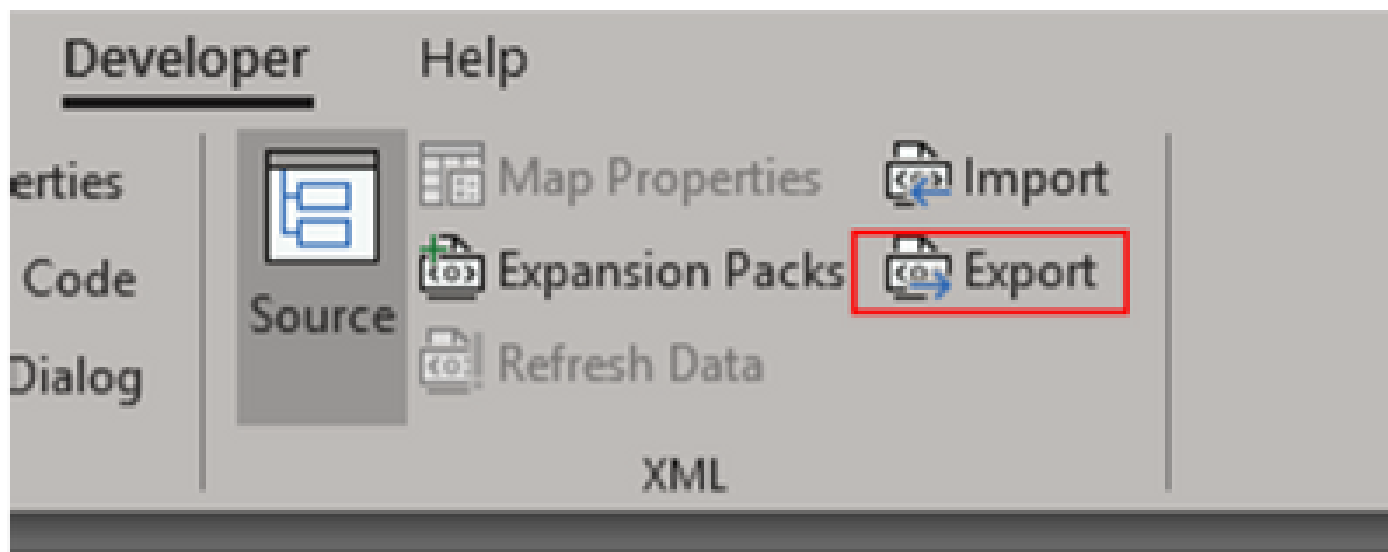
* * * *

4. グローバルクレデンシャルのみを受け取ります。

EntryName	UserId	Password	EnableUserName	EnablePassword	PassPhrase	IPEXprList	ReadCommunity	WriteCommunity	SNMPV3UserName
Dummy_v1						*.*.*.*	Dummy	Fake	
Dummy_v2						*.*.*.*	Dummy	Fake	
dummy						*.*.*.*			dummy
false_pass	false_pass	false_pass	false_pass	false_pass		*.*.*.*			
false_passSSH_v1	false_passSSH	false_passSSH	false_passSSH	false_passSSH		*.*.*.*			
false_passSSH_v2	false_passSSH	false_passSSH	false_passSSH	false_passSSH		*.*.*.*			
false_passSSH2_v1	false_passSSH2	false_passSSH2				*.*.*.*			
false_passSSH2_v2	false_passSSH2	false_passSSH2				*.*.*.*			

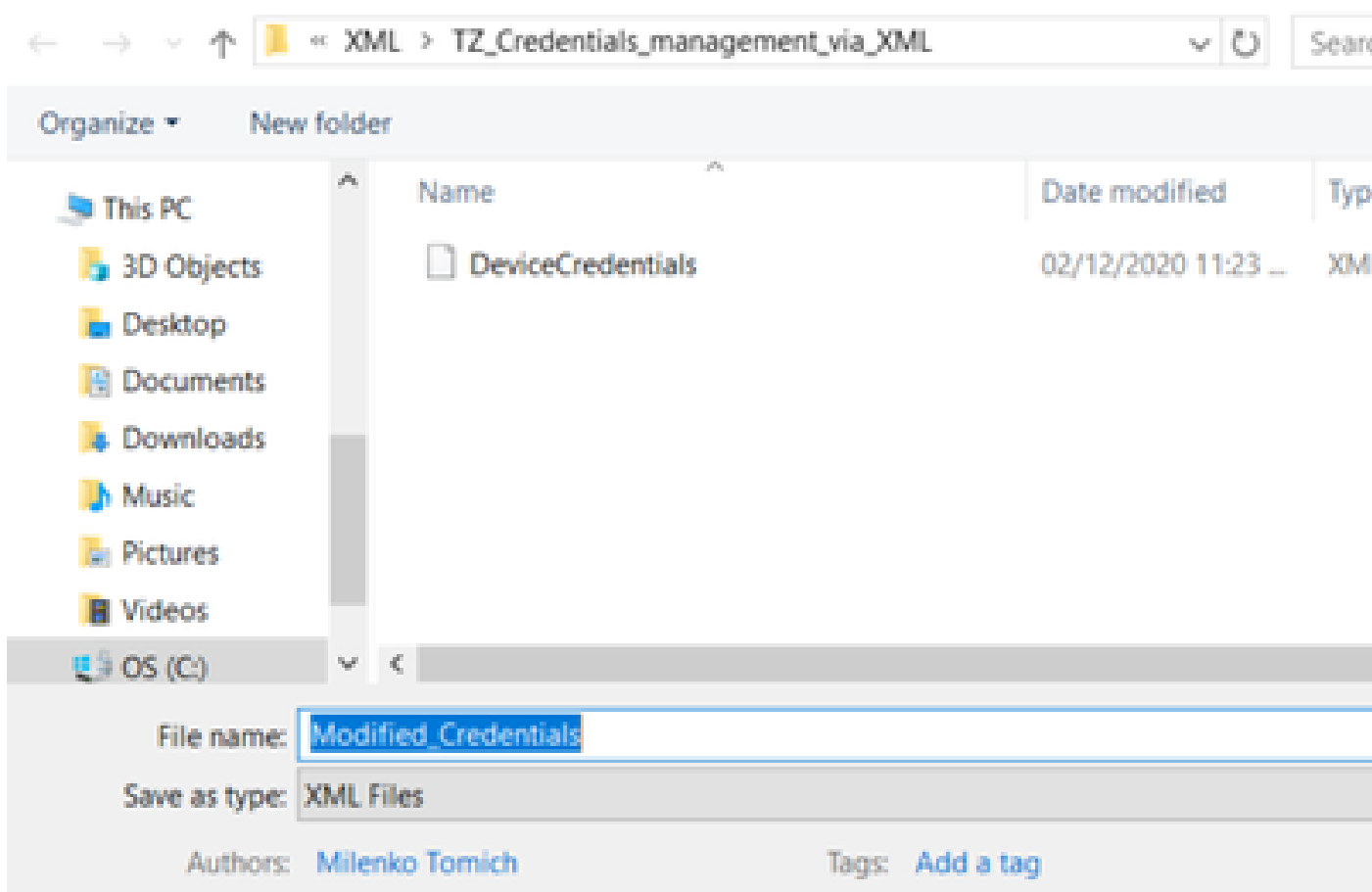
CSPC GUIへの変更のインポート

1. 編集したExcelブックで、[開発]タブに移動し、[XML]セクションの下の[エクスポート]をクリックします。




2. GUIでエクスポートされた資格証明の別の名前を使用して、安全でアクセス可能な場所に保存します。この方法では、手順の前後のバックアップがあります。

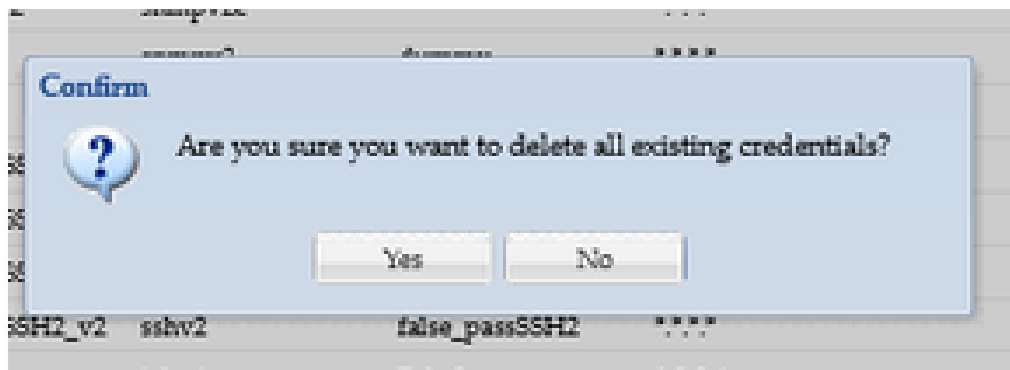
Export XML



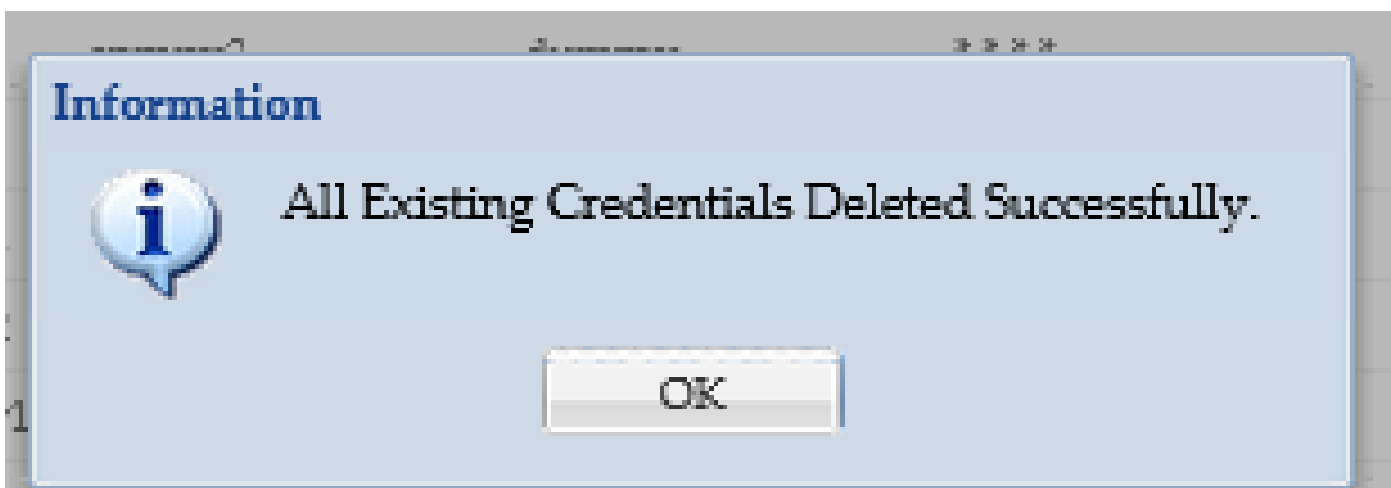
警告 : このステップでは、すべてのクレデンシャルを削除します。次の手順を実行する前に、以前にエクスポートした

 .XMLがあることを確認し、手順が正しく完了していることを確認します。クレデンシャルを変更または削除する前に、必ずクレデンシャルのバックアップを取得してください。

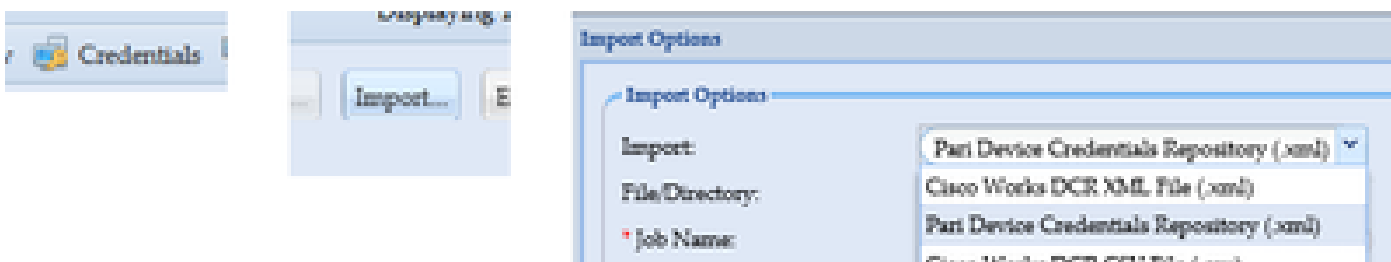
3. GUIにログインし、**Credentials > Delete All**の順に選択して確認します。



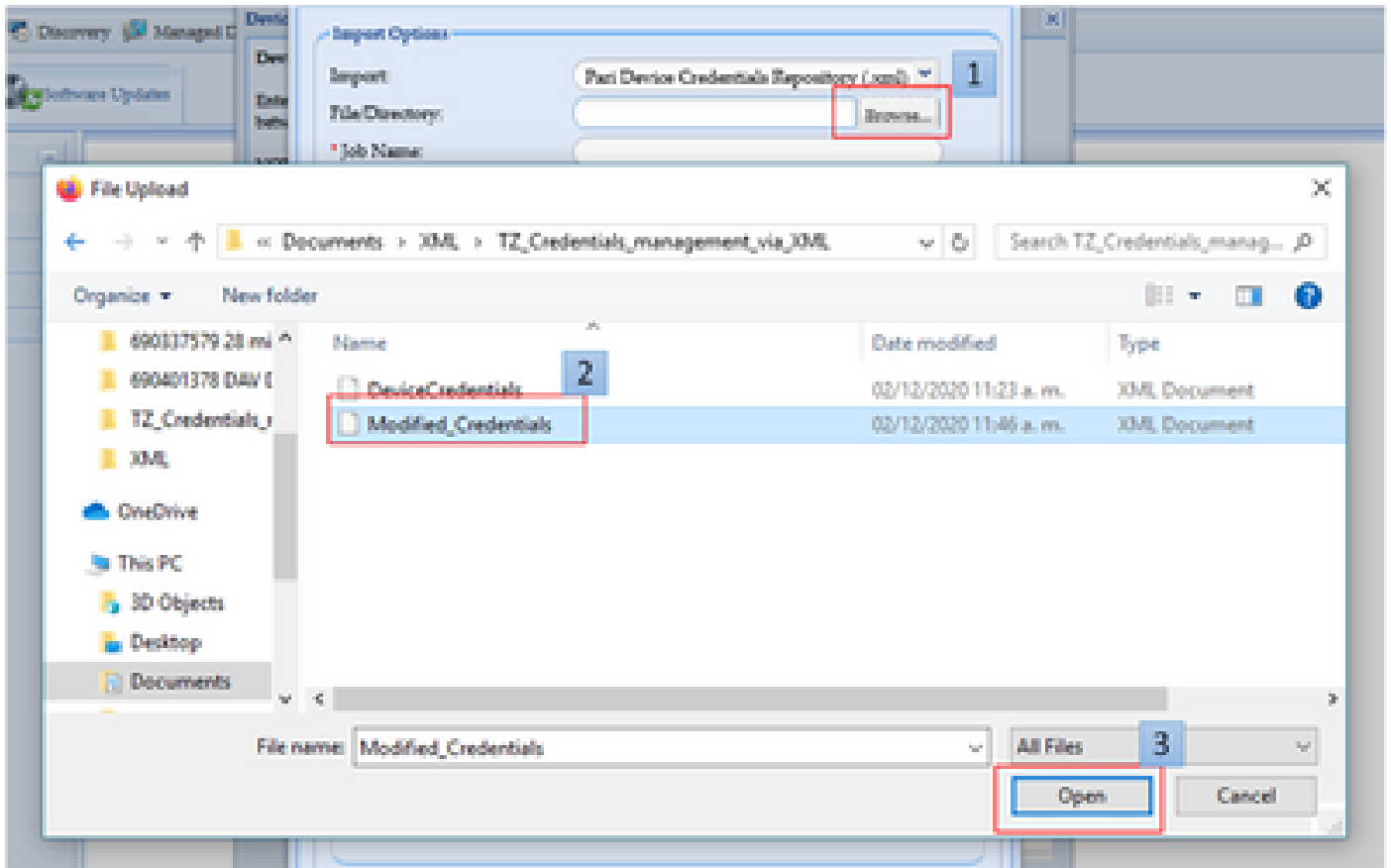
削除後に確認メッセージが表示されます。



4. **Credentials > Import > Pari Device Credentials Repository (.xml)**の順に移動します。



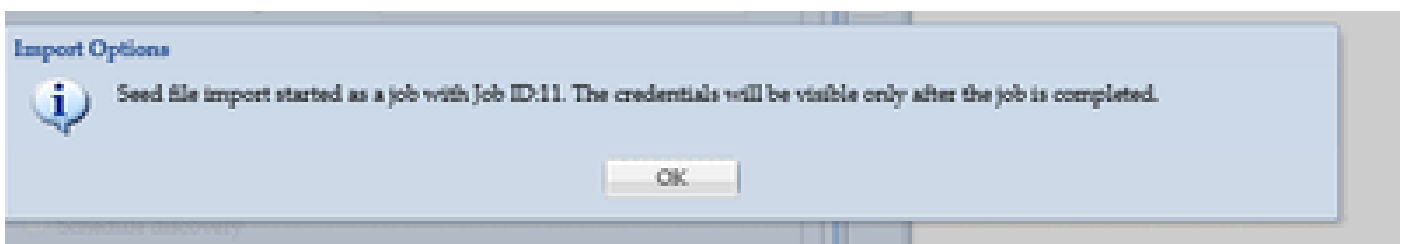
5. **Browse**ボタンをクリックし、**Modified_Credentials**を選択して、**Open**をクリックします。



6. ジョブの内容を表す名前を入力し、OKをクリックします。



7. 表示されたメッセージを確認したら、OKをクリックして credenシャルページを閉じます。



8. 指定した説明的な名前を持つシードファイルのインポートジョブタイプがジョブ実行ステータスの下に表示されます。完了までに1分以上はかかりません。



Job Id	Job Type	Job Name	Runs	State(Latest)	Status(Latest)	Start Time(Latest)	End Time(Latest)
11	Seedfile Import	Delete_non_global_creds	1	Completed	Success	Wed, Dec 2, 2020 05:52:42 -0600	Wed, Dec 2, 2020 05:52:42 -0600

確認

1. 「ジョブ実行ステータス」セクションに移動し、使用したジョブ名でのシードファイルのインポートが正常に完了したことを確

認めます。

2. [ダッシュボード]タブに、次の例のようなログが表示されます。

Module	Severity	Received At	Message
Import Lead File		Wed, Dec 2, 2020 06:52:42 -0600	Job 'Delete_non_global_creds' Seed file parsing completed.
Import Lead File		Wed, Dec 2, 2020 06:52:42 -0600	Job 'Delete_non_global_creds' Seed file parsing started...

3. 「資格証明」セクションに移動し、変更が資格証明に反映されていることを視覚的に確認します。

Device Credentials Configuration

Device Credentials

Enter credentials that will be used for device discovery and inventory and other communications between server and network devices

NOTE: Credentials would be saved to CSFC server as and when you take the action.

Credential Name	Transport	User Name	IP Address List
Dummy_v1	snmpv1		****
Dummy_v2	snmpv2c		****
dummy	snmpv3	dummy	****
false_pass	telnet	false_pass	****
false_passSSH_v1	sshv1	false_passSSH	****
false_passSSH_v2	sshv2	false_passSSH	****
false_passSSH2_v1	sshv1	false_passSSH2	****
false_passSSH2_v2	sshv2	false_passSSH2	****

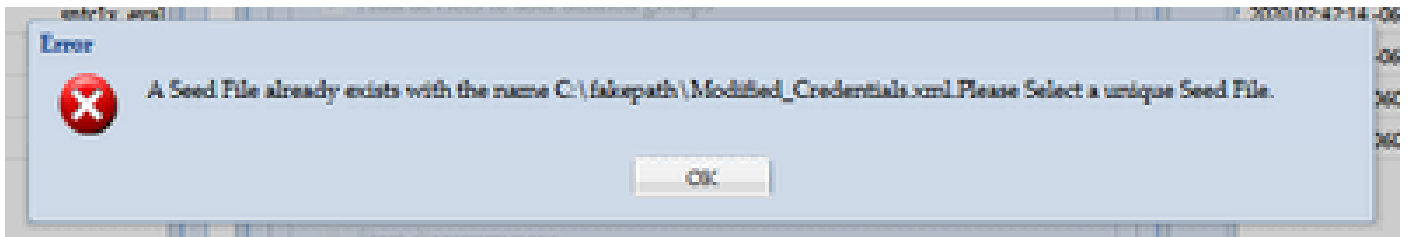
Page 1 of 1 Displaying 1 - 8 of 8

[Add...](#) [Delete](#) [Delete All](#) [Modify...](#) [Close...](#) [Import...](#) [Export...](#)

[Help...](#) [Close](#)

トラブルシューティング

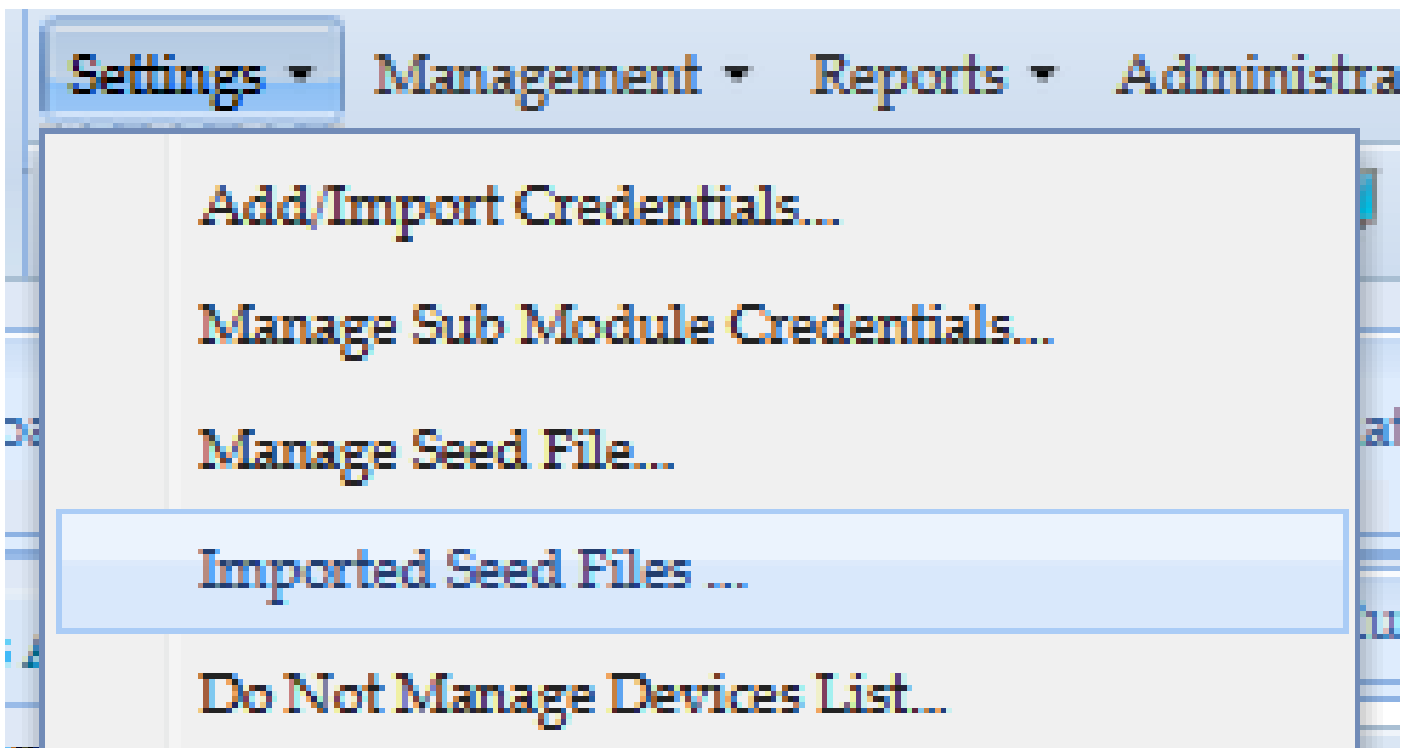
エラー「A Seed File already exists with the name C:\fakepath\



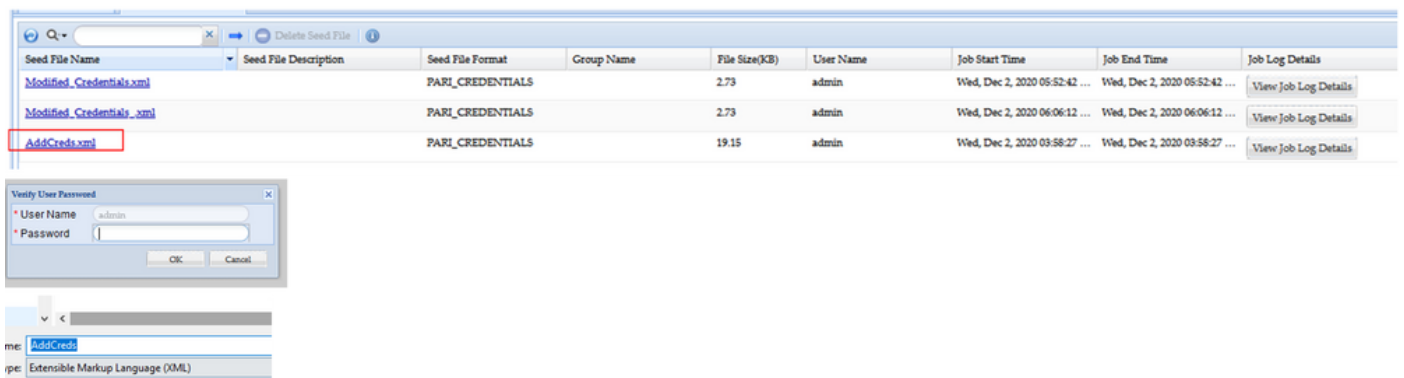
インポートする前にXMLの名前を変更して、再試行してください。

問題が発生しました。バックアップがないため、以前の資格情報を回復する必要があります

1. GUIで、Settings > Imported Seed Filesの順に移動します。



3. 以前のシードファイルを選択し、GUIクレデンシャルを入力して、安全でアクセス可能な場所にダウンロードします。



4. この手順の「CSPC GUIへの変更のインポート」セクションのステップ4を完了し、クレデンシャルを確認します。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。